

令和 5 年度
一般社団法人 埼玉県言語聴覚士会
定時社員総会議案書



一般社団法人 埼玉県言語聴覚士会

目 次

- 第 1 号議案 . . . 令和 4 年度活動報告
- 第 2 号議案 . . . 令和 4 年度決算報告
- 第 3 号議案 . . . 新役員を選出
- 第 4 号議案 . . . 令和 5 年度活動計画
- 第 5 号議案 . . . 令和 5 年度予算案

第1号議案 令和4年度活動報告（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

1. 全体の活動

- ・ 令和4年5月15日（日）に、令和4年度一般社団法人埼玉県言語聴覚士会定時社員総会を開催した。
- ・ 令和4年5月22日（日）に、第18回埼玉県言語聴覚士会学術集会をオンライン（Zoom）にて開催した。
- ・ 一般社団法人日本言語聴覚士協会との連携を図り、各種問い合わせや調査の協力を行った。
- ・ 令和4年7月2日（土）令和4年度春期都道府県士会会長会議、令和4年11月12日（土）令和4年度秋期都道府県士会会長会議に出席した。
- ・ 公益社団法人埼玉県理学療法士会、一般社団法人埼玉県作業療法士会と連携を図り、研修会等を共催した。
- ・ 令和4年6月27日（月）、令和4年10月17日（月）、令和5年2月20日（月）の3回、埼玉県リハビリ三団体連絡会議に参加した。
- ・ 埼玉県、さいたま市および川口市の委託を受け、埼玉県失語症者向け意思疎通支援者養成研修事業を実施した。
- ・ SNS（TwitterやFacebook）を使って、当会や言語聴覚士の仕事に関する情報発信を行った。
- ・ 当会ホームページのリニューアルの作業を行った。
- ・ 会員の利便性向上のために、会費集金・会員情報管理システムの導入の準備を進めた。
- ・ その他、関連団体等と連携や協力を図った。

2. 事務局

- ・ 新入会員の受付・登録、会員情報の変更、退会手続など会員名簿の管理を行った。
- ・ 各種調整・事務手続き、法務手続きを行った。
- ・ 会員のメーリングリストの管理を広報・情報部と共に行った。
- ・ 会費の徴収・管理（入会金と年会費、活動費）を行った。
- ・ 令和4年度一般社団法人埼玉県言語聴覚士会定時社員総会を、RaiBoC Hall（さいたま市民会館おみや）集会室3にて開催した。
- ・ 令和4年度決算書を作成し、令和5年度予算案を立案した。
- ・ 理事会をオンラインにて（Zoom）12回開催した。
- ・ 令和4年6月27日（月）に、令和4年度第1回埼玉県リハビリ三団体連絡会議を運営した。
- ・ 会費集金・会員情報管理システム導入の準備を行った。
- ・ ニュースレター38号・39号の発送を行った。
- ・ オンラインミーティングシステム（Zoom）の管理を行った。
- ・ 設立20周年記念事業の準備を行った。
- ・ 各種団体との連絡調整を行った。

3. 渉外部

- ・ 関係諸機関、諸団体への渉外活動を行った。
- ・ 賛助会員からの情報を会報、ホームページに掲載した。

4. 広報・情報部

- ・ ニュースレター38号、39号を発行した。
- ・ ホームページの更新を随時行った。
- ・ ホームページリニューアル作業を行った。
- ・ メーリングリストを運用し、メーリングリスト登録会員に対して当会主催・共催の研修会情報等を随時配信した。
- ・ 公益社団法人埼玉県理学療法士会・一般社団法人埼玉県作業療法士会と合同で、埼玉県リハビリテーション・マップの管理・運営を行った。

5. 企画部

① 言語聴覚の日

- ・ 令和4年9月～10月にかけて、TwitterとFacebookで言語聴覚士の仕事内容や、当会の活動紹介などを通じて啓発活動を行った。
- ・ その他不定期に活動紹介や研修会案内等の情報発信を実施した。

② 失語症者向け意思疎通支援事業

- ・ 埼玉県、さいたま市、川口市より委託を受け、埼玉県失語症者向け意思疎通支援者養成研修会を実施した。開催期間は令和4年9月11日（日）～令和5年2月26日（日）で、4名が修了となった。

③ 彩の国リハビリテーションフェスタ（POS Talk 2022）

- ・ 第1期 令和4年6月4日（土）、5日（日）、11日（土）、12日（日）
第2期 令和4年10月8日（土）、9日（日）、22日（土）、23日（日）
各日10時、11時、15時、16時から40分程度。計8枠開催期間合計で64枠のべ8日間
「現場のリハビリテーション専門職と話してみよう POS Talk 2022」をオンライン（Zoom）にて開催した。埼玉県内の中高校生・医療系予備校生を対象に、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の3職種のリハビリテーションの実施内容や役割分担などを紹介し、参加者からの相談事項に答えた。

6. 学術研修部

① 高次脳・運動系

- ・ 一般社団法人日本言語聴覚士協会生涯学習プログラム「症例検討会」を、令和5年2月22日（水）にオンライン（Zoom）にて開催し、症例検討証明書を発行した。

② 聴覚系

- ・ 一般社団法人東京都言語聴覚士会と共催で、研修会を2回開催した。

「今さら聞けない聴力検査と補聴器フィッティングの基礎」

令和4年12月11日（日）

埼玉福祉保育医療専門学校にて、聴力検査実習と講義

講義については、オンライン配信を実施

講師：坂本圭氏、野田幸義氏、岡野由実氏

参加者：27名

「高齢難聴者に対する言語聴覚士の支援について」

令和5年2月5日（日）オンライン開催（Zoom）

講師：鈴木恵子

参加者：43名

③ 生涯学習

- ・ 一般社団法人日本語聴覚士協会生涯学習基礎講座を、令和5年3月19日（日）にオンライン（Zoom）にて開催し、「臨床のマネジメントと職業倫理」「臨床業務のあり方、進め方」の2講座を実施した。

・

7. 地域リハ部

① 埼玉県リハビリ三団体主催訪問リハビリテーション実務者研修会

- ・ 埼玉県リハビリ三団体主催（公益社団法人埼玉県理学療法士会・一般社団法人埼玉県作業療法士会、一般社団法人埼玉県言語聴覚士会）訪問リハビリテーション実務者研修会の2コースを開催した。
【Basicコース】令和4年10月30日（日）オンライン開催（Zoom）
訪問リハビリの制度理解、緊急時対応
グループディスカッション「訪問リハビリ卒業に向けた社会参加支援」
参加者：20名（PT：10名、OT：6名、ST：4名）
【Advanceコース】令和5年2月5日（日）オンライン開催（Zoom）
「強みを生かす訪問リハビリテーション」
参加者：14名（PT：10人、OT：4人、ST：0人）

② 老健部

- ・ 「老健で働くSTの集い」を北部支部会と共催で1回実施した。
令和5年1月28日（土）
参加者：16名
講演 唐澤健太氏（リハビリテーション天草病院）
テーマ 「臨床所見から考える失語症の評価と訓練」
座談会 話題提供 後上裕史氏（介護老人保健施設 わかばの丘）
テーマ 「各加算算定におけるSTとしての関わりの工夫」

8. 地域包括ケア推進部

- ・ 地域包括ケアシステムに関わる研修会を、埼玉県・公益社団法人埼玉県理学療法士会・一般社団法人埼玉県作業療法士会・一般社団法人埼玉県リハビリテーション専門職協会とオンライン（Zoom）にて共催し、当会からも講師を派遣した。
介護予防 基本コース 年2回：令和4年6月18日（土）、令和4年12月17日（土）
地域ケア会議 基本コース 年2回：令和4年7月16日（土）、令和4年11月12日（土）
- ・ 令和4年8月31日（水）、令和4年11月22日（火）、令和5年3月17日（金）にオンライン（Zoom）にて部会を開催し、情報交換を図った。

9. 小児部

- ・ 研修会を1回開催した。
「幼児吃音の臨床 ―はじめのいっぽ―」
令和4年7月3日（日） 武蔵浦和コミュニティセンター

講師：坂田善政氏

参加者 25 名

- ・ 症例検討会を 1 回開催した。
令和 5 年 2 月 22 日（火）オンライン（Zoom）にて開催
症例検討 2 ケース
参加者 24 名
- ・ 吃音座談会を 3 回開催した。
第 1 金曜日にオンラインにて開催 (Zoom)
参加者は、毎回 13～15 名
- ・ 一般社団法人日本言語聴覚士協会障害福祉担当者連絡協議会が、令和 5 年 2 月 18 日（土）オンライン（Zoom）にて開催され、出席した。
- ・ 「特別支援学校と言語聴覚士の連携に関するアンケート」を実施し、結果をまとめ報告した。
- ・ 「学校 ST オンライン座談会」を令和 4 年 10 月 2 日（出席者 14 名）、令和 5 年 3 月 5 日（出席者 15 名）の 2 回実施した。
- ・ 特別支援学校教育関連の問い合わせに対応した。
- ・ 一般社団法人日本言語聴覚士協会学校教育連携担当者連絡協議会が令和 4 年 12 月 10 日（土）オンライン（Zoom）にて開催され、出席した。

10. 災害対策部

- ・ 埼玉県リハビリ三団体災害対策委員会の会議に 12 回参加した。
- ・ 埼玉県リハビリ三団体災害リハビリテーション研修会をオンライン（Zoom）にて開催した。
Basic コース 2 回：令和 4 年 7 月 30 日（土）、12 月 17 日（土）
Advance コース 1 回：令和 5 年 2 月 18 日（土）
- ・ 一般社団法人日本言語聴覚士協会主催「災害基礎研修」に部員 2 名が参加した。
1 回目：令和 4 年 12 月 10 日（土）
2 回目：令和 5 年 1 月 14 日（土）
- ・ Advance コース修了者向けに災害リハ通信を発行した。

11. 地域別支部組織

① 東部支部

- ・ 支部会を 3 回オンライン（Zoom）にて開催した。
第 1 回 症例検討会（2 演題）
令和 4 年 8 月 31 日（水）
発表者：地原貴伸氏（リハビリテーション天草病院）、高山康子氏（新久喜総合病院）
参加者：14 名
第 2 回 講演「身体機能と摂食嚥下障害の関係性」
令和 4 年 12 月 15 日（木）
講師：石山寿子氏（国際医療福祉大学）
参加者：37 名
第 3 回 施設紹介
令和 5 年 2 月 21 日（火）

発表者：芹澤亮介氏（済生会加須病院）

参加者：8名

- ・ 北部支部と合同で、第18回埼玉県言語聴覚士会学術集会をオンライン（Zoom）にて開催した。

② 西部支部

- ・ 支部会を1回オンライン（Zoom）にて開催した。

第1回「障害があっても“はたらく”～障害福祉サービス 復職・就労支援について～」

令和5年1月25日（火）

講師：三前有理氏（リハスワーク）

三塚理人氏、大橋綾菜氏、池田未央氏

（脳卒中・身体障害専門就労移行支援センター リハス大塚）

参加者：18名

- ・ 第19回学術集会実行委員会として令和5年度の学術集会の準備を行った。

③ 南部支部

- ・ 支部会を2回オンライン（Zoom）にて開催した。

第1回「STが地域を元気にする～介護予防の視点から～」

令和4年10月28日（金）

講師：倉林泰士郎氏（戸田中央リハビリテーション病院）

参加者：20名

第2回「当院の嚥下障害に対する取り組みとバルーン訓練法の紹介」

令和4年11月25日（金）

講師：中垣友徳氏（戸田中央リハビリテーション病院）

参加者：24名

④ 北部支部

- ・ 支部会を2回オンライン（Zoom）にて開催した。

第1回 事例報告会「どうしてる？発達障害のお子さんの摂食障害～保健センターのことばの相談の場での取り組みを紹介～」

令和4年9月25日（日）参加者：13名

発表者：田尻恵美子氏（春日部市役所ことばの教室他）

参加者：13名

第2回 支部会兼老健で働くSTの集い

令和5年1月28日（土）

参加者：16名

<講演>

テーマ：「臨床所見から考える失語症の評価と訓練」

講師：唐澤健太氏（リハビリテーション天草病院）

<座談会>

テーマ「各加算算定におけるSTとしての関わりの工夫」

話題提供者：後上裕史氏（介護老人保健施設わかばの丘）

- ・ 東部支部と合同で、第18回埼玉県言語聴覚士会学術集会をオンライン（Zoom）にて開催した。

第2号議案 令和4年度決算報告

収支計算書
令和4年4月1日～令和5年3月31日

1 事業活動収入

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異
I 会費収入			
(1)正会員準会員会費	2,075,000	2,015,000	60,000
(2)賛助会員会費	60,000	60,000	0
(3)正会員準会員入会金	30,000	33,000	△ 3,000
(4)賛助会員入会金	0	0	0
II 事業収入			
(1)学会参加費	0	45,000	△ 45,000
(2)研修会参加費	80,000	30,000	50,000
III 補助金等収入			
活動支援補助費	50,000	0	50,000
埼玉県委託金	1,571,659	1,571,659	0
失語症支援事業 テキスト代	0	12,000	△ 12,000
その他	0	0	0
IV 雑収入			
雑費	0	60,294	△ 60,294
利息	0	7	△ 7
当期収入合計(A)	3,866,659	3,826,960	39,699
前年度繰越金	4,682,183	4,682,183	0
収入合計(B)	8,548,842	8,509,143	39,699

2 事業活動支出

	予算額	決算額	差異
I 事務局			
総務	395,000	331,142	63,858
通信費	105,000	140,259	△ 35,259
用品費	170,000	29,483	140,517
リース費	0	69,780	△ 69,780
会議費	80,000	26,710	53,290
印刷費	20,000	38,000	△ 18,000
会場費	20,000	5,910	14,090
予備費	0	21,000	△ 21,000
会計	355,000	294,920	60,080
通信費	3,000	7,089	△ 4,089
用品費	2,000	59,677	△ 57,677
会議費	100,000	66,644	33,356
会場費	0	910	△ 910
市県民税	70,000	0	70,000
予備費	180,000	35,600	144,400
雑損失	0	125,000	△ 125,000
発送	110,000	111,615	△ 1,615
通信費	105,000	111,615	△ 6,615
予備費	5,000	0	5,000
一社)埼玉県リハビリテーション専門職協会	122,200	123,300	△ 1,100
通信費	0	0	0
会費	122,200	123,300	△ 1,100

II 渉外部

	8,000	0	8,000
通信費	2,000	0	2,000
用品費	2,000	0	2,000
印刷費	2,000	0	2,000
予備費	2,000	0	2,000

III 広報・情報部

ニュースレター	90,600	88,330	2,270
通信費	600	330	270
印刷費	90,000	88,000	2,000
ホームページ	100,800	79,036	21,764
通信費	220	495	△ 275
印刷費	100,580	0	100,580
ホームページ関連費		78,541	△ 78,541
地域リハマップ	30,600	12,532	18,068
通信費	30,000	1,180	28,820
会議費	600	300	300
印刷費	0	11,052	△ 11,052

IV 企画部

令和4年度埼玉県失語症者向け 意思疎通支援者養成研修事業	1,571,659	1,571,659	0
通信費	25,000	127,890	△ 102,890
用品費	25,233	186,591	△ 161,358
会議費	282,750	10,414	272,336
印刷費	190,000	132,442	57,558
会場費等	150,000	86,120	63,880
講師謝礼等	898,676	985,632	△ 86,956
講師謝礼等	0	42,570	△ 42,570
意思疎通支援事業	90,000	31,837	58,163
通信費	5,000	0	5,000
用品費	5,000	31,837	△ 26,837
会議費	40,000	0	40,000
印刷費	5,000	0	5,000
会場費	10,000	0	10,000
講師謝礼等	20,000	0	20,000
予備費	5,000	0	5,000
言語聴覚の日	10,000	11,446	△ 1,446
通信費	0	520	△ 520
用品費	10,000	10,926	△ 926
リハフェスタ	50,000	34,064	15,936
通信費	0	1,264	△ 1,264
会議費	4,500	9,700	△ 5,200
印刷費	29,500	23,100	6,400
講師謝礼等	16,000	0	16,000

V 学術研修部

高次脳・運動系	38,000	900	37,100
通信費	3,000	0	3,000
会議費	5,000	900	4,100
講師謝礼等	30,000	0	30,000
聴覚系	65,000	72,963	△ 7,963
通信費	0	660	△ 660
用品費	0	721	△ 721
会議費	0	7,321	△ 7,321
印刷費	0	850	△ 850
会場費	30,000	30,000	0
講師謝礼等	30,000	33,411	△ 3,411
予備費	5,000	0	5,000
生涯学習	65,000	11,436	53,564
通信費	5,000	0	5,000
用品費	5,000		5,000
会議費	3,200	300	2,900
印刷費	5,000	0	5,000
会場費等	30,000	0	30,000
講師謝礼等	16,800	11,136	5,664

VI 地域リハ部

地域リハ研修会	15,000	0	15,000
会議費	15,000	0	15,000
老健部会	6,000	0	6,000
用品費	1,000	0	1,000
会議費	2,000	0	2,000
印刷費	1,000	0	1,000
会場費等	1,000	0	1,000
予備費	1,000	0	1,000

VII 地域包括ケア推進部

	110,000	50,248	59,752
通信費	20,000	0	20,000
用品費	15,000	0	15,000
会議費	0	5,700	△ 5,700
講師謝礼等	40,000	44,548	△ 4,548
予備費	35,000	0	35,000

VIII 小児部

小児	67,000	51,913	15,087
通信費	2,000	0	2,000
用品費	2,000	0	2,000
会議費	3,000	4,195	△ 1,195
会場費等	0	3,170	△ 3,170
講師謝礼等	50,000	44,548	5,452
予備費	10,000	0	10,000
特別支援学校教育	12,680	10,398	2,282
通信費	10,680	3,985	6,695
会議費	0	5,700	△ 5,700
印刷費	2,000	713	1,287

IX 災害対策部

	33,000	6,600	26,400
通信費	2,000	0	2,000
会議費	20,000	6,600	13,400
講師謝礼等	6,000	0	6,000
予備費	5,000	0	5,000

X 地域支部

東部	27,000	13,854	13,146
通信費	1,500	1,645	△ 145
会議費	1,500	3,300	△ 1,800
講師謝礼等	24,000	8,909	15,091
西部	14,400	600	13,800
通信費	1,200	0	1,200
会議費	1,200	600	600
会場費等	12,000	0	12,000
南部	24,500	14,013	10,487
通信費	1,000	520	480
用品費	500	0	500
会議費	3,000	1,800	1,200
印刷費	5,000	0	5,000
会場費等	5,000	0	5,000
講師謝礼等	10,000	11,693	△ 1,693
北部	15,000	6,254	8,746
通信費	2,000	0	2,000
会議費	3,000	1,800	1,200
講師謝礼等	10,000	4,454	5,546

XI 学術集会

R4年度学術集会(第18回)	82,000	75,755	6,245
通信費	10,000	4,530	5,470
用品費	5,000	0	5,000
会議費	10,000	13,500	△ 3,500
印刷費	2,000	2,040	△ 40
講師謝礼等	50,000	55,685	△ 5,685
予備等	5,000		5,000
R5年度学術集会準備	80,000	24,300	55,700
通信費	10,000	0	10,000
用品費	10,000	0	10,000
会議費	20,000	24,300	△ 4,300
会場費等	40,000	0	40,000
定時社員総会	164,000	0	164,000
通信費	108,000	0	108,000
用品費	10,000	0	10,000
印刷費	46,000		46,000
20周年記念事業	120,000	6,000	114,000
通信費	14,800	0	14,800
用品費	50,000	0	50,000
会議費	25,200	6,000	19,200
印刷費	10,000	0	10,000
予備等	20,000	0	20,000

3 事業支出

	予算額	決算額	差異
当期支出合計(C)	3,872,439	3,035,115	837,324

当期収支差額(A)－(C)	△ 5,780	791,845	△ 797,625
次期繰越収支差額(B)－(C)	4,676,403	5,474,028	△ 797,625

正味財産増減計算書
令4年4月1日から令和5年3月31日まで

一般社団法人埼玉県言語聴覚士会

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 形状増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金			
受取入会金	33,000	52,000	△ 19,000
受取会費			
受取正準会員会費	2,015,000	2,439,000	△ 424,000
受取賛助会員会費	60,000	60,000	0
受取会費計	2,108,000	2,551,000	△ 443,000
事業収益			
研修会収益	30,000	76,000	△ 46,000
学会収益	45,000	2,000	43,000
事業収益計	75,000	78,000	△ 3,000
特別支援金			
(一) 日本言語聴覚士協会 活動支援補助金	0	50,000	△ 50,000
委託金			
埼玉県	1,571,659	1,571,659	0
雑収益			
受取利息	7	2	5
テキスト代	12,000	12,000	0
その他事業活動費	60,294	7,490	52,804
経常収益計	3,826,960	4,270,151	△ 443,191
(2) 経常費用			
事業費			
会員事業費	205,945	239,296	△ 33,351
研修事業費	147,610	178,404	△ 30,794
広報活動費	168,915	606,947	△ 438,032
合同事業費	129,900	130,500	△ 600
学会事業費	100,055	66,108	33,947
委託事業費	1,571,659	1,571,659	0
その他事業活動費	84,969	74,104	10,865
事業費計	2,409,053	2,867,018	△ 457,965
管理費			
理事会関連費	481,062	700,691	△ 219,629
交際費	0	10,000	△ 10,000
雑損失	125,000	290,000	△ 165,000
その他	20,000	20,000	0
管理費計	626,062	1,020,691	△ 394,629
経常費用計	3,035,115	3,887,709	△ 852,594
当期経常増減額	791,845	382,442	409,403
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	791,845	382,442	409,403
一般正味財産期首残高	4,682,183	4,299,741	382,442
一般正味財産期末残高	5,474,028	4,682,183	791,845
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	5,474,028	4,682,183	791,845

貸借対照表
令和5年3月31日 現在

一般社団法人埼玉県言語聴覚士会

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産		流動負債	
現金及び預金	5,510,929	前受金	75,000
未収入金	315,940	未払金	277,839
		預り金	2
流動資産合計	5,826,869	負債合計	352,841
固定資産	0	正味財産	4,682,183
		繰越利益剰余金	791,845
		正味財産合計	5,474,028
資産合計	5,826,869	負債・純資産合計	5,826,869

令和5年4月18日

一般社団法人 埼玉県言語聴覚士会
会長 田尻 恵美子 様

監事 重山 剛儀 (重山)

監事 木場 由紀子 (木場)

監査報告書

私たち監事は、令和4年度（自令和4年4月1日～至令和5年3月31日）の事業及び会計の監査を行いましたので、その結果につきまして以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事は、理事会に出席し、理事等から電磁的方法も用いてその業務の執行について報告を受け、必要に応じて説明を求め、関係書類を閲覧し、業務及び財産の状況を監査いたしました。

業務監査については、議事録、事業報告書等を閲覧して、業務執行の妥当性を検討しました。会計監査については、決算報告書、財務諸表、経費明細書、収支計算書等関係書類を閲覧し、その処理が適切に行われているかを検討しました。

2 監査結果及び意見

- (1) 会の事業は、概ね適正に管理・運営されていると認めます。
- (2) 会計についてその執行は適正に行われていると認めます。今後とも会費徴収と名簿管理を正確に行えるよう求めます。また、一般社団法人としての適正な会計処理を継続するため、公認会計士等による専門的な助言を受けることを求めます。
- (3) 業務の役割分担が偏ることのないよう効率化を図ることを求めます。

以上

第3号議案 新役員選任について

令和4年度役員の任期満了に伴い、当会の理事・監事の選挙公示を行い、立候補の受け付けを行ったところ、以下のとおりとなりました。

理事・監事いずれも定数内の立候補となりましたので、施行細則第9条1項により、無投票の選出となりました。また、定数の不足分を、定款及び施行細則に基づき、理事会にて2名推薦いたしました。

理事・監事の立候補と理事会推薦者の選任は、正会員の中から総会の議決権の過半数の承認をもって選任されることとなります。

<立候補者>

理事	赤沼 賢吾	(TMG 戸田中央メディカルケアグループ本部)
同	東江 浩美	(狭山市立青い実学園 他)
同	新井 美由紀	(春日部市障がい者支援課 ことばの教室 他)
同	荒木 桑実	(霞ヶ関南病院)
同	石田 恵子	(栗橋ナーシングホーム翔裕園)
同	大住 雅紀	(霞ヶ関南病院)
同	大畑 秀央	(国立障害者リハビリテーションセンター病院)
同	唐澤 健太	(リハビリテーション天草病院)
同	後藤 多可志	(目白大学)
同	小林 智子	(目白大学)
同	清水 充子	(埼玉県総合リハビリテーションセンター)
同	杉田 好子	(西部総合病院)
同	高木 亮	(圏央所沢病院)
同	田尻 恵美子	(春日部市障がい者支援課 ことばの教室 他)
同	谷合 信一	(防衛医科大学校耳鼻咽喉科学講座)
同	内藤 佐季	(新座志木中央総合病院)
同	中辻 勝一	(埼玉医科大学総合医療センター)
同	蛭田 和良	(さいたま岩槻病院)
監事	木場 由紀子	(所属なし)
同	重山 剛儀	(さいたま市立病院)

<理事会推薦>

理事	岡田 岳歩	(エント上福岡事業所)
同	野口 大輔	(埼玉県総合リハビリテーションセンター)

第4号議案 令和5年度活動計画（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

1. 全体の活動

- ・ 令和5年度一般社団法人埼玉県言語聴覚士会定時社員総会・第19回学術集会を開催する。
- ・ 一般社団法人日本言語聴覚士協会と連携する。
- ・ 埼玉県リハビリ三団体連絡会議や一般社団法人埼玉県リハビリテーション専門職協会などを通じて、公益社団法人埼玉県理学療法士会・一般社団法人埼玉県作業療法士会との連携を強化する。
- ・ その他、関連団体等との協力関係を強化する。
- ・ 当会会員の拡大を図り、会員相互の連携を強化する。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策を検討しながら、会員や県民、障害をお持ちの当事者に対する事業を円滑に遂行していく。
- ・ 設立20周年の記念事業を、年間を通じて開催していく。
- ・ 言語聴覚士学校養成所指定規則改定に伴う臨床実習指導者講習会開催に向けて、関係機関と連携を図りつつ準備を進める。

2. 事務局

- ・ 令和5年度一般社団法人埼玉県言語聴覚士会定時社員総会を開催する。
- ・ 会員情報を管理する。
- ・ 会費を管理する。
- ・ 入会金と年会費、活動費の管理を行う。
- ・ 会費集金や会員管理システムの導入と管理を行う。
- ・ 予算・決算・監査報告を行う。
- ・ 理事会、埼玉県リハビリ三団体連絡会議を開催する。
- ・ 各種発送作業、情報提供、外部との交渉に関する事務作業を行う。
- ・ メーリングリストの運用を行う。
- ・ オンラインシステム zoom の運用を行う。
- ・ ニュースレターの発送を行う。
- ・ 関東圏言語聴覚士会と連携を図る。

3. 渉外部

- ・ 行政や企業・関連団体・教育機関に対して、啓発活動を行い、協力・連携を深める。
- ・ 関連団体に対して、積極的に働きかけを行い、賛助会員を募集する。

4. 広報・情報部

- ・ ニュースレターを刊行する。
- ・ ホームページの管理・運営を行う。
- ・ 一般市民や障害をお持ちの当事者やその家族等の問い合わせに対応する。
- ・ メーリングリストを運用する。
- ・ 公益社団法人埼玉県理学療法士会・一般社団法人埼玉県作業療法士会と共同で埼玉県リハビリテーションマップの管理・運営を図っていく。

5. 企画部

① 言語聴覚の日

- ・ 9月1日の言語聴覚の日に合わせて、SNSを使った啓発活動を行う。
- ・ 20周年記念事業の一環として、一般住民向けを対象に「吃音について」をテーマにした講演会を開催する。

② 失語症者向け意思疎通支援事業

- ・ 埼玉県、さいたま市および川口市より委託を受け、埼玉県失語症者向け意思疎通支援者養成研修事業を実施する。
- ・ 派遣事業の実施について、埼玉県との協議を継続する。

③ 彩の国リハビリテーションフェスタ

- ・ 公益社団法人埼玉県理学療法士会・一般社団法人埼玉県作業療法士会と共催で、一般市民を対象に彩の国リハビリテーションフェスタ「現場のリハビリテーション専門職と話してみよう POS 2023」をwebにて開催する。

④ 20周年記念事業

- ・ 当会設立から20年目の節目の年であることから、1年を通じて記念事業を開催する。

6. 学術研修部

① 高次脳・運動系

- ・ 日本言語聴覚士協会生涯学習プログラム「症例検討会」をオンラインで2回実施する。
- ・ 研修会を開催する（開催形式は検討）。

② 聴覚系

- ・ 一般社団法人東京都言語聴覚士会との共催で研修会を2回開催する。
1つ目は、聴覚の基礎や臨床経験の少ないSTを対象とするもので、聴力検査や補聴器フィッティング等実習形式を検討している。
- ・ 2つ目は、聴覚臨床に携わっているSTを対象とするもの

③ 生涯学習基礎講座

- ・ 一般社団法人日本言語聴覚士協会生涯学習基礎講座を3講座開催する。

7. 地域リハ部

① 地域リハ等に関する研修会

- ・ 公益社団法人埼玉県理学療法士会・一般社団法人埼玉県作業療法士会と共催で、訪問リハビリテーション実務者研修会 Basic コース、Advance コースをそれぞれ1回オンライン（zoom）にて開催する。
- ・ 令和5年度 訪問リハビリテーション地域リーダー会議へSTを派遣する。

8. 地域包括ケア推進部

- ・ 地域包括ケアシステムに関わる研修会（介護予防・地域ケア会議）に講師を派遣する。
- ・ 地域包括ケア推進部会を開催する。

9. 小児部

- ・ 症例検討会を開催する。

- ・ 研修会を開催する。
- ・ 吃音座談会を定期的に開催する。
- ・ 県内特別支援学校に対して、問い合わせへの対応ならびに ST の活用状況調査を実施する。
- ・ 特別支援教育関連の情報交換会を実施する。
- ・ 小児部メーリングリストの運用を行う。

10. 災害対策部

- ・ 埼玉県リハビリ三団体災害対策委員会の会議に参加する。
- ・ 埼玉県リハビリテーション三団体主催災害リハビリテーション研修会を開催する。
Basic コース 2 回、Advance コース 1 回、Advance コース修了者向けフォローアップ 1 回を予定。
- ・ 研修会修了者向けに災害リハビリテーションに関する情報発信を行う。

11. 地域別支部

① 東部支部

- ・ 支部会を 3 回開催する。

② 西部支部

- ・ 支部会を 2 回開催する。
- ・ 第 19 回埼玉県言語聴覚士会学術集会を開催する。

③ 南部支部

- ・ 支部会を 3 回開催する。
- ・ 第 20 回埼玉県言語聴覚士会学術集会の準備をすすめる。

④ 北部支部

- ・ 支部会を 2 回開催する。

第5号議案 令和5年度予算案

会計期間: 令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日

作成日: 2023/4/1

歳入の部

科目	摘要	内訳	単価	件数	小計
前年度よりの繰越 会費等					5,474,028
	総計				
	2,020,000	正・準会員			
	会費		5,000	386	1,930,000
	賛助会費		10,000	6	60,000
	入会金		1,000	30	30,000
参加費等	0				
	学会参加費	正・準会員			0
		非会員			0
	60,000				
	研修会参加費	正・準会員			0
		非会員一般	3,000	20	60,000
その他					
	活動支援補助費				50,000
	委託金				1,571,659
合計					9,175,687

歳出の部

	通信費	用品費	会議費	印刷費	会場費等	講師謝礼等	会費	リース料	市県民税等	予備費	合計
事業全体	443,200	168,233	601,050	490,580	283,000	1,264,676	122,200	93,600	20,000	989,000	4,475,539
全体予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,700,148	4,700,148
	443,200	168,233	601,050	490,580	283,000	1,264,676	122,200	93,600	20,000	5,689,148	9,175,687

歳入の部 合計 9,175,687
 歳出の部 合計 9,175,687 内訳) 各部門・支部の支出... 4,475,539
 全体の予備費... 4,700,148
 差 額 0



埼玉県言語聴覚士会は、設立 20 周年を迎えました